



《現状把握》

本校の生徒は、何事にも意欲的あり、行事等において自主的に取り組んでいる。特に、生徒会を中心としたいじめ撲滅宣言をし、全校生徒がいじめ撲滅に向けて取り組んでいる。分析表を見て分かるように規範意識が高く、生徒達自身で学校を良くしようとする意識が高い。また、チャレンジしようとする意識も高く目標を持たせるとそれに向かって努力する生徒がほとんどである。今後は、将来への夢を持たせ、それを実現させるような指導を実践していくことが課題である。

《授業改善のポイント》

本校は真面目な生徒が多く、ICTや言語活動を重視した授業を展開し、生徒の興味や関心を高めさせている。しかし、この結果を見るとまだ国語や数学に対する関心が今一歩である。結果的には全国平均を上回ってはいるが、今後さらに教員の資質向上を図り、生徒の興味・関心・意欲を高めさせることが課題である。

《チャートの特徴》

国語や数学では、知識や活用については平均を上回っているが、関心についてやや下回っている。しかし、規範意識や生活習慣、自尊感情等生徒の基本的な生活習慣は、日ごろの生徒指導が充実していることで全国平均を上回っている。今後は、補習授業や数学の少人数授業を通して、基礎的な学力をさらに身につけさせ、興味・関心を高めさせ、全国平均をさらに上回るような体制を構築していく。

《家庭・地域への働きかけ》

生徒の家庭学習において、予習や復習が今一歩である。基礎的学力の向上には、家庭学習が何より大切なことを日ごろから呼びかけてはいるが、まだまだ不十分であるという結果が出たので、保護者会等でさらに啓発していく。